

小中学校の給食費の無償化を求める陳情

(文教委員会付託)

受 理 番 号 第 3 号

受理年月日 令和5年6月 1日

付託年月日 令和5年6月20日

陳 情 者

陳 情 原 文 日頃からの子どもと教育へのご尽力、誠にありがとうございます。

2020年から始まったコロナ禍での暮らし、さらに昨年末から続く物価の高騰により、区民の生活はますます困難になり、格差と貧困の広がりが大きな社会問題となってきました。この事態は子育て世代を直撃し、給料がなかなか増えない状況の中、教育費への出費も増え、さらに厳しい状況になっています。

子ども達は、みんなといっしょに食べる学校給食を楽しみにしています。「まともな食事は給食だけ」「一日の食事が給食だけの生徒もいる」など、学校給食の果たす役割はかつてなく重要になっています。家庭の状況にかかわらず、安心して食事が出ることは、子どもの情緒の安定にとっても大切なことです。

未来を担う子ども達の健やかな成長・発達をはぐくむ学校給食は、教育の一環として位置付けられるものです。「義務教育は無償」という憲法第26条の原則からも、学校給食の無償化は子どもの貧困対策・少子化対策としても大きな意義があります。今、全国の多くの自治体で給食費の無償化が実施され、23区でも7区で無償化、2区で一部無償化となっています。

江戸川区では、給食の自校調理、栄養士の全校配置、給食費の1／3程度の負担軽減措置（2012年度まで）、給食費値上げ激変緩和措置等、学校給食に対する素晴らしい施策を実施してきました。さらに一歩進めて、学校給食費の無償化を実現させてください。子育てにやさしい江戸川区、将来世代への応援を、行政をあげて行っていただきたく、下記のとおり陳情いたします。

記

学校給食費の無償化を所得制限無しで、実現してください。